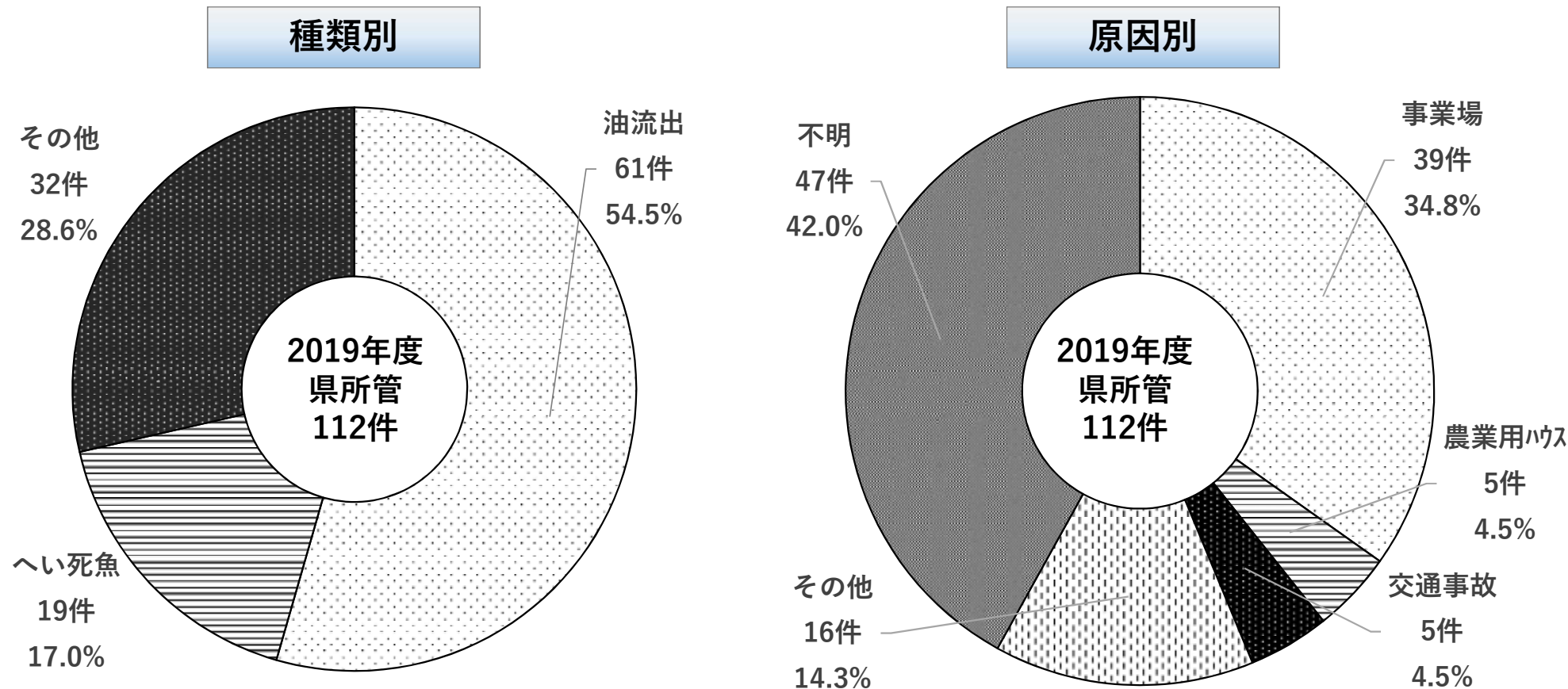


愛知県における水質事故発生状況（2019年度愛知県所管分※）



種類\原因	事業場	農業用ハウス	交通事故	その他 (個人宅等)	不明	計
油流出	20	5	5	9	22	61
へい死魚	0	0	0	0	19	19
その他 (汚水等)	19	0	0	7	6	32
計	39	5	5	16	47	112

※ 愛知県が通報を受理した事故件数（2019年度:135件）から、県外や水質汚濁防止法政令市で発生した事故を除く件数

2019年度水質事故事例（愛知県所管分）①

No.	事故種類	流出物質	発生箇所 流出量	河川等 流出量	原因者 (業種等)	事故概要	主な原因	主な対応 (上段：応急措置 下段：再発防止対策)
1	油流出	灯油	約10L	同左	建設業	地下灯油タンクからボイラーへ送油する地中配管から灯油が漏洩し、地中を經由して河川へ流入した。	地中配管の老朽化 地中配管の点検未実施	タンクからの送油停止、油及び汚染土の回収
								地下配管の地上化、地下タンクの定期的な点検
2	その他	汚泥脱水機の濾液	約66L	約28L	輸送用機械器具製造業	電気めっき工場の排水処理施設の汚泥脱水機から濾液がオーバーフローし、場内の雨水排水経路を經由して河川に流出した。	汚泥脱水機の脱水受けトイに汚泥が詰まった。 側溝に濾液が溜まりオーバーフローした。	汚泥脱水機の停止、汚水の回収、道路や雨水枡の清掃
								施設・側溝の定期的な点検・清掃（手順書・チェックシート作成）、汚泥が堆積しないよう施設改良、雨水枡の水位自動感知計及びポンプの設置
3	その他	ほう素混じり廃液	約120L	不明	輸送用機械器具製造業	廃液が入ったドラム缶を運搬中に転倒させ、雨水排水枡に流入後、降雨により雨水排水口から流出した。	廃液が入ったドラム缶を運搬中に転倒させた。	雨水排水口の閉鎖、工場内雨水排水経路の水を回収
								ドラム缶運搬器具の改良、使用方法の従業員教育
4	油流出	切削油	1L未満	同左	生産用機械器具製造業	屋外保管していたコンテナ内の切削くずから、降雨により、切削油を含む雨水が流出した。	コンテナを屋外に保管していた。	集水ますの油を回収
								コンテナを屋外に放置しないよう徹底
5	油流出	水溶性切削油	1500L未満	200L未満	鉄鋼業	冷却水の送水ポンプと配管を接続するフランジ部から水溶性切削油を含む冷却水が漏洩し、場内の雨水排水溝を經由して一部が河川に流出した。	フランジ部のパッキンが老朽化により破損した。	ポンプ停止、排水溝に土嚢設置、排水溝・枡の油を回収
								パッキンの定期的な点検・交換
6	油流出	油（油種不明）	不明	同左	鉄鋼業	工場内の床面に付着した油等が降雨により流出した。	工場内各所や油水分離槽の清掃が不十分だった。	場内調整池等の油回収、油水分離槽の清掃
								油水分離槽の後工程に排水処理装置を設置

※表に掲げた事例は、県所管分の水質事故のうち原因を特定できた事例を一部抜粋したものである。

2019年度水質事故事例（愛知県所管分）②

No.	事故種類	流出物質	発生箇所 流出量	河川等 流出量	原因者 (業種等)	事故概要	主な原因	主な対応 (上段：応急措置 下段：再発防止対策)
7	その他	亜鉛含有薬液	4.2m3	同左	窯業・土石製品製造業	亜鉛含有薬液が工場内の排水経路を經由して海に流出した。	薬液タンクの薬液入替え作業終了後にバルブの切り替えを忘れた。	排水口の閉鎖、バルブの切り替え タンクから排水経路への配管を遮断、タンク周囲に防液堤及び液面センサーを設置、作業手順の従業員教育
8	油流出	食用油	不明	同左	飲食店	飲食店の浄化槽から油を含む排水が水路に流出した。	浄化槽の管理不足	水路の油及び雨水側溝に堆積した汚泥を回収 浄化槽の適切な保守点検・清掃・修理
9	油流出	エンジンオイル	最大約14L	同左	機械器具小売業	油水分離槽がオーバーフローしてエンジンオイルが河川に流出した。	油水分離槽のオーバーフロー	油の回収、油水分離槽の清掃 油水分離槽清掃頻度を増やす、大雨時には臨時点検
10	油流出	重油	約300L	約50L	農業	農業用ハウスの重油タンク撤去作業中にクレーンからタンクを落として破損したことにより、重油が海に流出した。	老朽化したタンク撤去中に作業ミスにより破損した。	油の回収 タンクの完全撤去
11	油流出	鉄くずに付着した油	不明	同左	自動車整備業	風雨により廃棄物置場の鉄くずコンテナから油が流出し、工場内の排水溝や枡に付着した油が、用水路の冠水により水路へ流出した。	コンテナが雨ざらしであった。廃棄物置場の排水が油水分離槽に円滑に流れる構造ではなかった。	鉄くずコンテナのシート掛け、最終放流枡の油を回収 鉄くずの保管容器を蓋付きドラム缶に変更、廃棄物置場からの排水が全量油水分離槽に流入する構造に改造
12	その他	汚泥	不明	同左	輸送用機械器具製造業	廃棄物（金属の表面処理工程で排出される汚泥）の保管場所から下流の排水路に流出した。	汚泥保管容器に隙間があり雨水が浸入した。排水路に近い場所で保管していた。	保管容器の移動、ウエスによる流出防止措置、汚泥回収 気密性が高い保管容器に変更、容器の下に受皿を設置、保管場所の変更

※表に掲げた事例は、県所管分の水質事故のうち原因を特定できた事例を一部抜粋したものである。

2019年度水質事故事例（愛知県所管分）③

No.	事故種類	流出物質	発生箇所 流出量	河川等 流出量	原因者 (業種等)	事故概要	主な原因	主な対応 (上段：応急措置 下段：再発防止対策)
13	油流出	A重油	約40L	約35L	繊維工業	ボイラーと重油タンクを接続する配管の亀裂から重油が流出し、工場内の側溝を経由して水路、海まで流出した。	配管上部に設置されていた鉄板に負荷がかかり、配管に亀裂が生じた。	ボイラー及びタンクのバルブ閉鎖、配管の補修による流出防止、側溝の油を回収 配管の交換、ボイラー管理者の配置、管理マニュアルの作成
14	油流出	水溶性切削油	約5L	同左	輸送用機械器具製造業	ドラム缶の蓋の上に溜まった油及びウエスから降雨により油が流出し、側溝を経由して水路、河川に流出した。	油が溜まったドラム缶及びウエスを屋外に保管していた。	ドラム缶の拭き取り及び屋内へ移動、側溝の油を回収 保管場所や油交換工程の変更、点検表の作成及び従業員教育
15	油流出	軽油	約550L	不明（微量）	道路貨物運送業	車両への給油中に、ノズルの故障により給油が止まらなくなり、一部の油が油水分離槽を越えて場外に流出した。	給油機のノズルの故障	最終放流柵及び油水分離槽の油を回収、給油機のノズル交換 ノズル故障時対応や給油作業等に関する従業員教育
16	油流出	水溶性作動油	約100L	同左	輸送用機械器具製造業	作動油の配管が損傷し、作動油が冷却水に混入し場外の側溝に流出した。	作動油の配管が経年劣化により破損。検知システムがなかった	施設の停止 施設の改修、他設備の老朽部位点検、対応マニュアル作成
17	油流出	A重油	100～1000L	不明（微量）	農業	農業用ハウスのボイラー燃料配管のバルブが緩んでおり、水路に重油が流出した。	使用していない吐出口のバルブが緩んでいた。	バルブの閉鎖、油汚染土の除去 バルブの開閉確認の徹底、第三者の侵入防止措置、末端部にキャップを装着
18	油流出	混合油と廃液の混合液	不明	同左	輸送用機械器具製造業	廃液をドラム缶に移す作業中に内容物が溢れ、工場内側溝を経由して場外へ流出した。	廃液を移す先のドラム缶が空ではなかった。作業者が作業中に目を離してしまった。工場外への排水経路の遮断が遅れた。	工場内外の側溝の汚水を回収、排水口を土嚢で封鎖 屋内作業の徹底、容器内容物確認の徹底等の作業マニュアル作成、訓練の計画的実施

※表に掲げた事例は、県所管分の水質事故のうち原因を特定できた事例を一部抜粋したものである。

2019年度水質事故事例（愛知県所管分）④

No.	事故種類	流出物質	発生箇所 流出量	河川等 流出量	原因者 (業種等)	事故概要	主な原因	主な対応 (上段：応急措置 下段：再発防止対策)
19	油流出	水溶性切削油混じり洗浄水	約614L	同左	輸送用機械器具製造業	水溶性切削油混じりの洗浄水が雨水排水経路に流入し、工場外の河川に流出した。	洗浄水経路の隙間から雨水排水経路に洗浄水が漏れた。	河川への放流停止、雨水枡の排水回収、隙間のあった箇所を補修 洗浄水経路を側溝から配管に変更
20	その他	消泡剤（ホルムアルデヒド含有）	200m ³ （ホルムアルデヒド換算37g）	同左	金属製品製造業	排水処理施設で使用する消泡剤を過剰に添加したため排水が白濁し、河川に流出した。	ポンプ不具合により消泡剤の投入量（濃度）が通常の10倍となっていた。	河川への放流停止、工場内の排水を回収 消泡剤補給要領書の作成
21	その他	釉薬（SiO ₂ 等含有）	150L	同左	窯業・土石製品製造業	赤い釉薬混じりの洗浄水が雨水排水路を経由して河川に流出した。	洗浄水の排水路と雨水排水路の間に亀裂があった。	排水経路の閉鎖により河川への放流停止、排水路及び敷地内の赤い釉薬混じり土の回収 排水経路の変更、ピットの増設、SDSの情報を従業員で共有
22	その他	機器洗浄水	1000～2000L	同左	食料品製造業	排水処理施設から汚水がオーバーフローし、側溝を経由して河川に流出した。	好気化槽のフリクトスイッチ故障により通常の排水経路への送水がされなかった。	排水処理施設への流入停止、流出箇所の洗浄 日常点検を1回/日から3回/日に変更、専門業者による機器点検を1回/年から2回/年に変更。
23	その他	水性塗料含有洗浄水	約30L	同左	輸送用機械器具製造業	水性塗料の付着したプレートの洗浄水が側溝に流出した。	プレートを敷地内の側溝で洗浄した。	土嚢により洗浄水の流出防止措置、側溝の洗浄及び汚水の回収 放流系統図・緊急備品置場図を作成し社内周知、従業員教育

※表に掲げた事例は、県所管分の水質事故のうち原因を特定できた事例を一部抜粋したものである。